

羅針盤 (進路便り)

京都市立梅津中学校

第13号

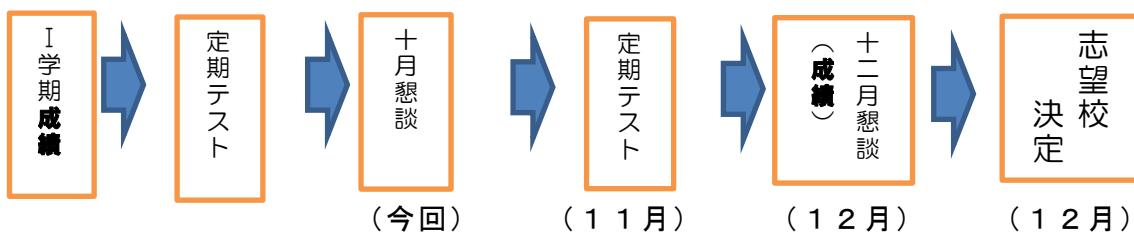
R7.9.22(月)

令和8年度 京都府公立高等学校 選抜要項

●テスト後の取り組み

2学期に入りあっという間に第3回テストが終わりました。結果はいかがだったでしょうか？夏休みに一生懸命取り組んだ学習の成果を出す事が出来ましたか。結果だけに一喜一憂するのではなく、それまでの過程を振り返りに心掛けましょう。10月下旬の懇談ではいよいよ進路に向けた話を詰めていくことになります。まだまだ学校の説明会はあります。何度も繰り返し足を運び、「〇〇高校へ進学するんだ」という強い意志を持ちましょう！！

★志望校決定までのイメージ



志望校（受験校）決定まで残り3か月です。

○公立を希望する人は **重要：公立前期要項冊子**

今日、配布した冊子は京都府公立高校の概要が記載されています。受検制度など確認しておきましょう。また前期選抜で受検する場合は各学校の「求める生徒像」は必ず読んで、面接や作文で答えられるようにしておきましょう。多くの学校では、面接や作文にも配点が決められていて他人との違い（優れた点）がないと差をつけることはできません。ありきたりな返答ではなく、高校側が「〇〇さんには是非、うちの学校に来てほしい」と思わせるような人物にならなければなりません。

受検まで大切に保管し、いつでも確認できるようにしておきましょう。

◎私学を希望する人は

今後の学校説明会に参加する場合は個別相談窓口で7月成績を伝えるようにしてみましょう。コース選択の際にアドバイスが受けられるかもしれません。また受験の方法なども、学校によって様々なので、よく確認しましょう。

●受験（受検）は団体戦、でも個々の努力は欠かせない

『受験は団体戦』といわれ、学年、クラスみんなで支えあい、励ましあい乗り越えるものです。ただし、やはり志望校の選択から当日試験、そして合格を勝ち取るのは自分自身です。学校行事と平行させながら、残り約半年の中学校生活、しっかり学習に取り組みましょう。自分の進路は自分で切り拓きましょう。